



2017年度
第2四半期 決算説明会資料
2017年11月2日

株式会社UACJ

1. 2017年度上期業績

2. 2017年度通期業績見通し

3. タイ、北米、日本
～2017年度上期総括と今後の見通し

4. 財務状況、ガバナンス

1. 2017年度上期業績

経常利益 128億円（前年同期比 54億円増）

■ 数量：前年同期並み

- 自動車、液晶・半導体製造装置向けが増加
- 国内、米国向け缶材が減少

■ 経常利益：前年同期比 54億円（73.2%）増

- 棚卸評価関係の改善
- 販売ミックス改善、コストダウン、UATH*の損益改善

中間配当 3円／株を実施

■ 中間配当3円（株式併合後換算で30円）／株
予定通り実施

2017年度 上期業績



(単位：億円)

	2016年度 上期 (A)	2017年度 上期 (B)	増 減 (B) - (A)
連結売上高	2,789	3,019	230
連結営業利益	104	158	54
棚卸影響前 連結経常利益	109	82	△27
連結経常利益	74	128	54
連結当期純利益	22	69	47
Adjusted EBITDA	268	256	△12

※ 連結当期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ Adjusted EBITDA：EBITDA - 棚卸評価関係

セグメント別売上高・営業利益

(単位：億円)

	2016年度 上期 (A)		2017年度 上期 (B)		増 減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	2,229	119	2,405	160	176	41
伸銅品	217	0	221	10	5	9
加工品・関連事業	794	15	906	23	112	8
(調整額)	△450	△30	△513	△35	△63	△5
合 計	2,789	104	3,019	158	230	54

連結経常損益分析

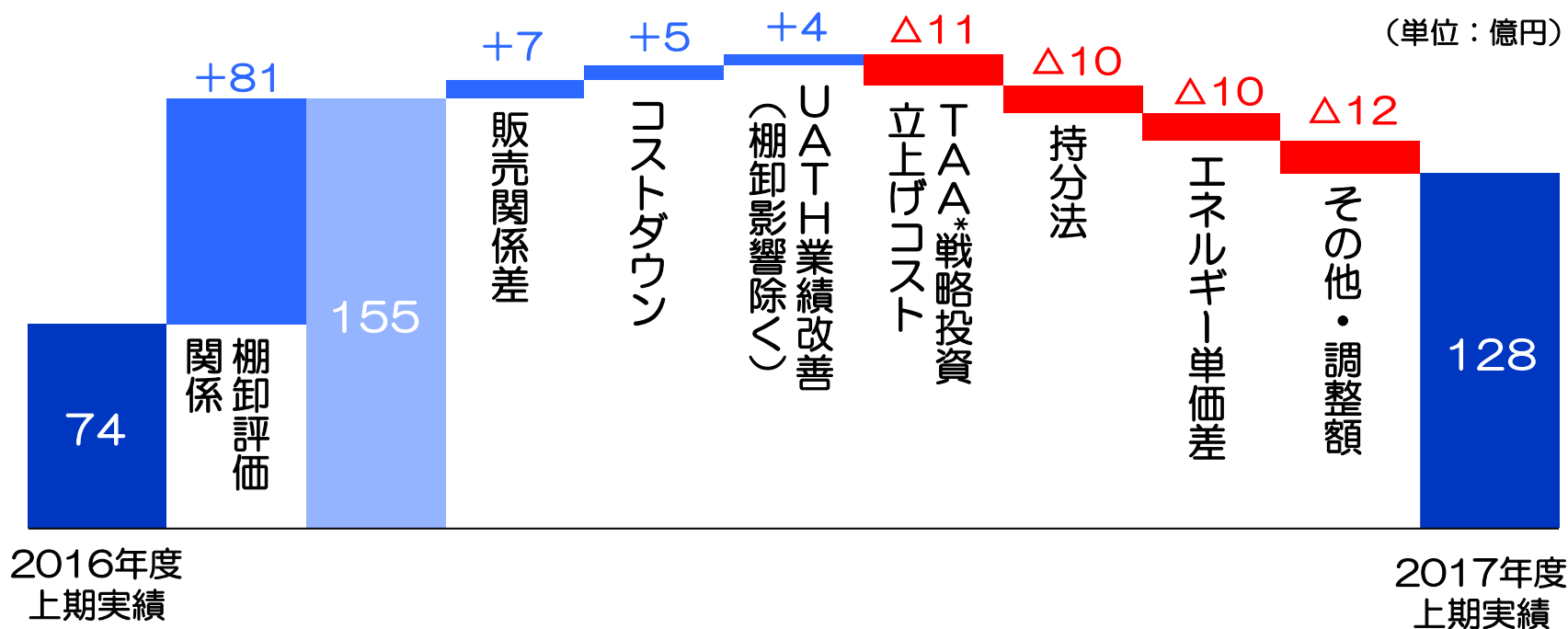
(2016年度上期実績 → 2017年度上期実績)



74億円 (2016年度 上期実績) → 128億円 (2017年度 上期実績)

統合効果差 +5億円を含む
(2016年度 上期実績 48億円 → 2017年度 上期実績 53億円)

2017年2Qまでの
統合効果累計 115億円



アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2016年度上期 (A)	2017年度上期 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	331	301	△31
箔 地	24	24	0
I T	8	11	3
自 動 車	45	61	16
厚 板	32	33	2
その他一般材	77	85	9
合 計	517	515	△2
	(国内市場向け 261 海外市場向け 256)	(国内市場向け 268 海外市場向け 247)	(7 △9)

2. 2017年度通期業績見通し

2017年度業績見通し：経常利益 300億円 変更なし

■ 5月発表時と比較し、増益・減益要因は異なるが、見通しに変更なし

◎増益要因

- ・棚卸評価関係による増益
- ・販売ミックス改善
液晶・半導体製造装置向け、
自動車向けが好調

△減益要因

- ・CUA* 量産立上げコスト増加
- ・缶材 販売が計画より未達
- ・UATH 販売・生産性ともに
計画より若干未達

期末配当 30円／株を予定

■ 期末配当は当初通り 30円／株を予定
安定的かつ継続的に実施する基本方針に変更なし

設備投資・減価償却費

(単位：億円)

		2016年度 上期	2016年度 通期	2017年度 上期	2017年度 通期見通し
設備投資	一般投資	50	112	73	159
	戦略投資	84	204	200	454
	合計	133	316	273	613
減価償却費		111	228	123	250
戦略投融资		195	231	22	38

※ 通期見通しは当初予定通り

3. タイ、北米、日本 ～2017年度上期総括と今後の見通し

計画より若干遅れ気味だが、販売・生産ともに改善しつつある

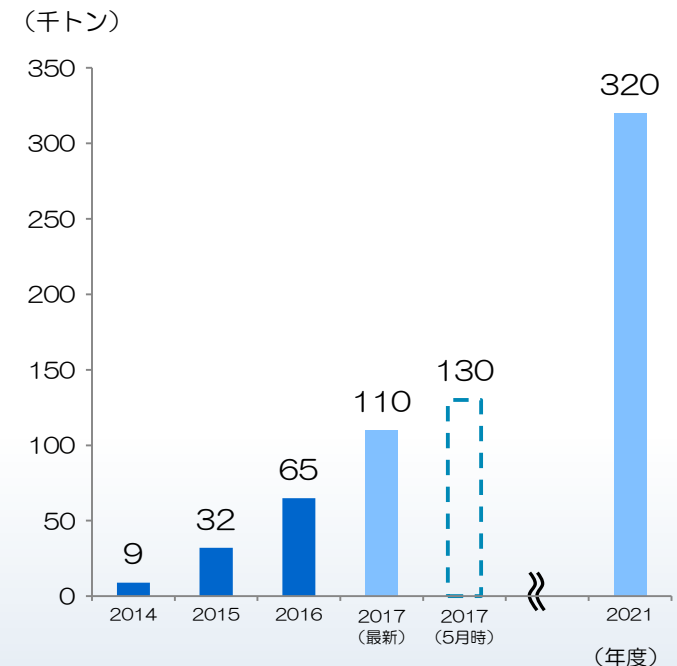
2017年度上期総括

- 上期販売：予定通り 8~9千トン/月を維持
- 缶材での材料認定遅れは解消

今後の見通し

- 下期販売：計画より若干遅れ気味
1.3万トン/月 (5月時見込み) → 1万トン/月
中東での需要減、販売先での在庫調整
- 生産性：計画より若干未達
- 第3期工事：予定通り進捗

UATH 年間販売量



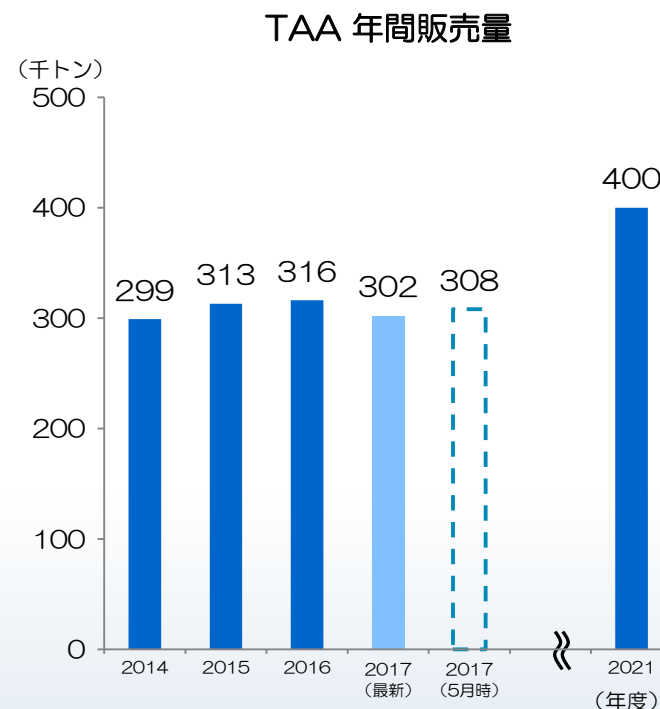
北米グループ各社で、旺盛な自動車用部材の需要を取り込む

2017年度上期総括

- TAA: 缶材の販売数量を確保しつつ自動車用母材生産を増加
- CUA: 量産立上げに向け両社から応援強化課題は徐々に解決中
- UWH*: 引き合いが増加最新鋭押出機を導入

今後の見通し

- TAA: 鋳造 (第1期) 稼働、冷間ライン建設は順調
- CUA: 量産・稼働の安定化
- UWH: 受注の獲得、量産準備



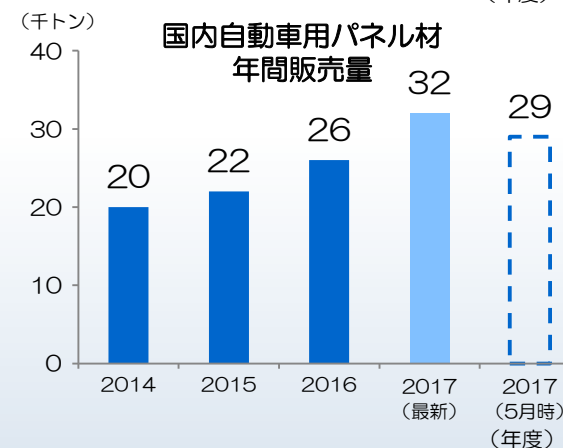
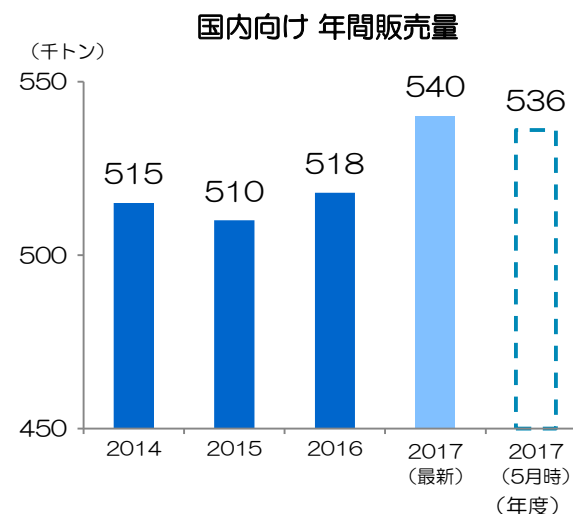
液晶・半導体製造装置向け、自動車向けが好調を継続

2017年度上期総括

- ・液晶・半導体製造装置向けは見込みより好調
- ・自動車向けは予定通り好調
- ・缶材は夏季の天候不順により微減

今後の見通し

- ・液晶・半導体製造装置向け需要は好調継続
- ・自動車向け需要は下期増加見込み
- ・福井製造所で自動車向け設備を増強
 投資金額 約160億円
 生産能力 10万トン
 熱処理・表面処理（CALP*）、スリッター等
 2020年1月稼働予定



4. 財務状況、ガバナンス

	2017/3末	2017/9末
自己資本（億円）	1,841	1,904
自己資本比率（％）	25.4	25.3
有利子負債（億円）	3,238	3,278
D/Eレシオ*（倍）	1.49	1.46
R O E（％）	5.0	9.1 (年間ベース換算値)

*劣後ローンの資本性考慮後

指名・報酬諮問委員会を設置

取締役、執行役員の指名、報酬等の決定プロセスの客観性・透明性向上

構成員

委員長	山内 重徳	代表取締役会長
委員	岡田 満	代表取締役社長
	鈴木 俊夫	独立社外取締役
	杉山 涼子	独立社外取締役
	浅野 明	独立社外監査役
	曾根 貴史	元当社社外監査役

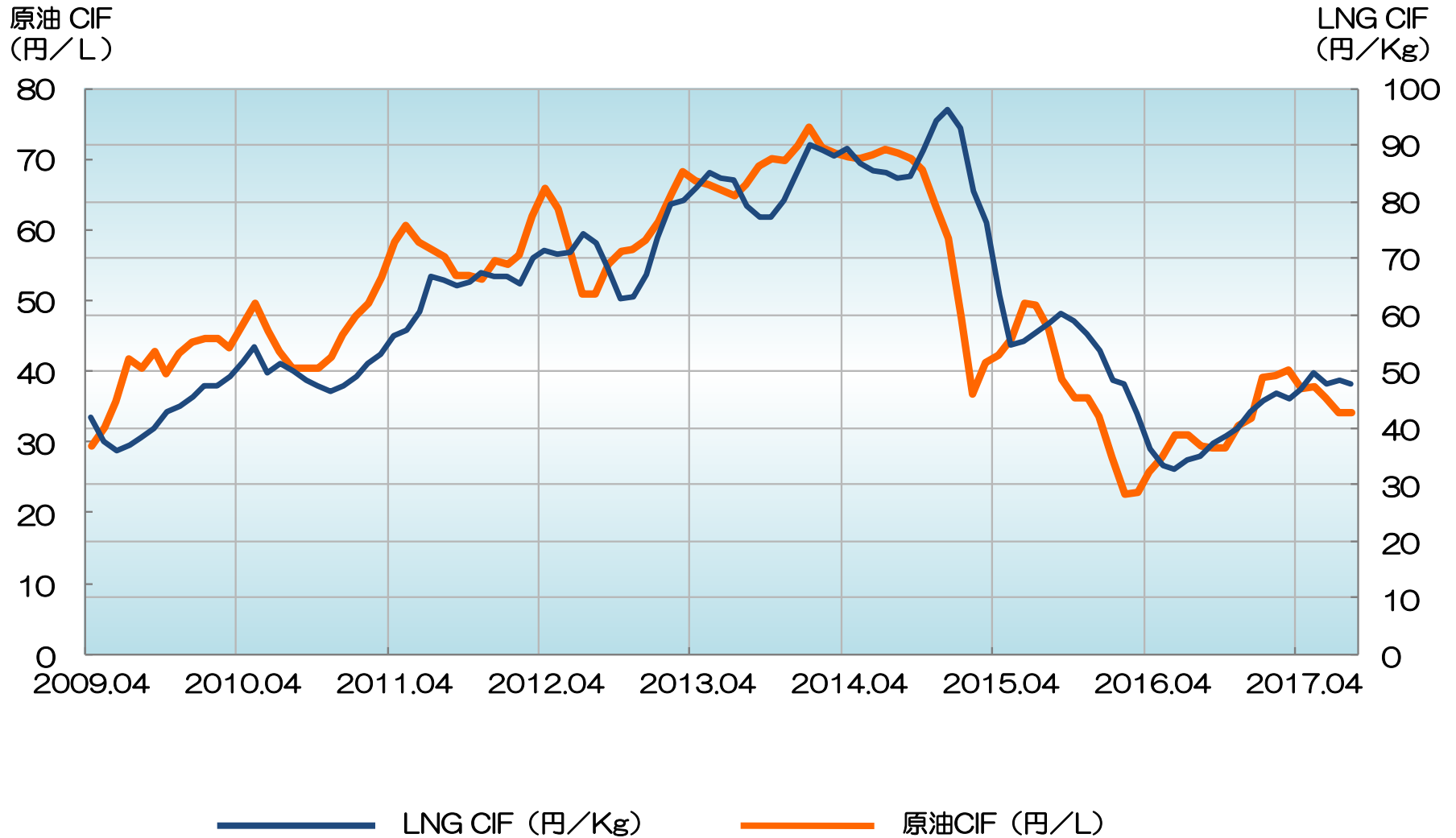
主な役割

- 取締役、執行役員候補者の指名に関し、諮問を受け、検討を行い、取締役会に答申
- 取締役、執行役員の報酬に関し、諮問を受け、検討を行い、取締役会に答申 等

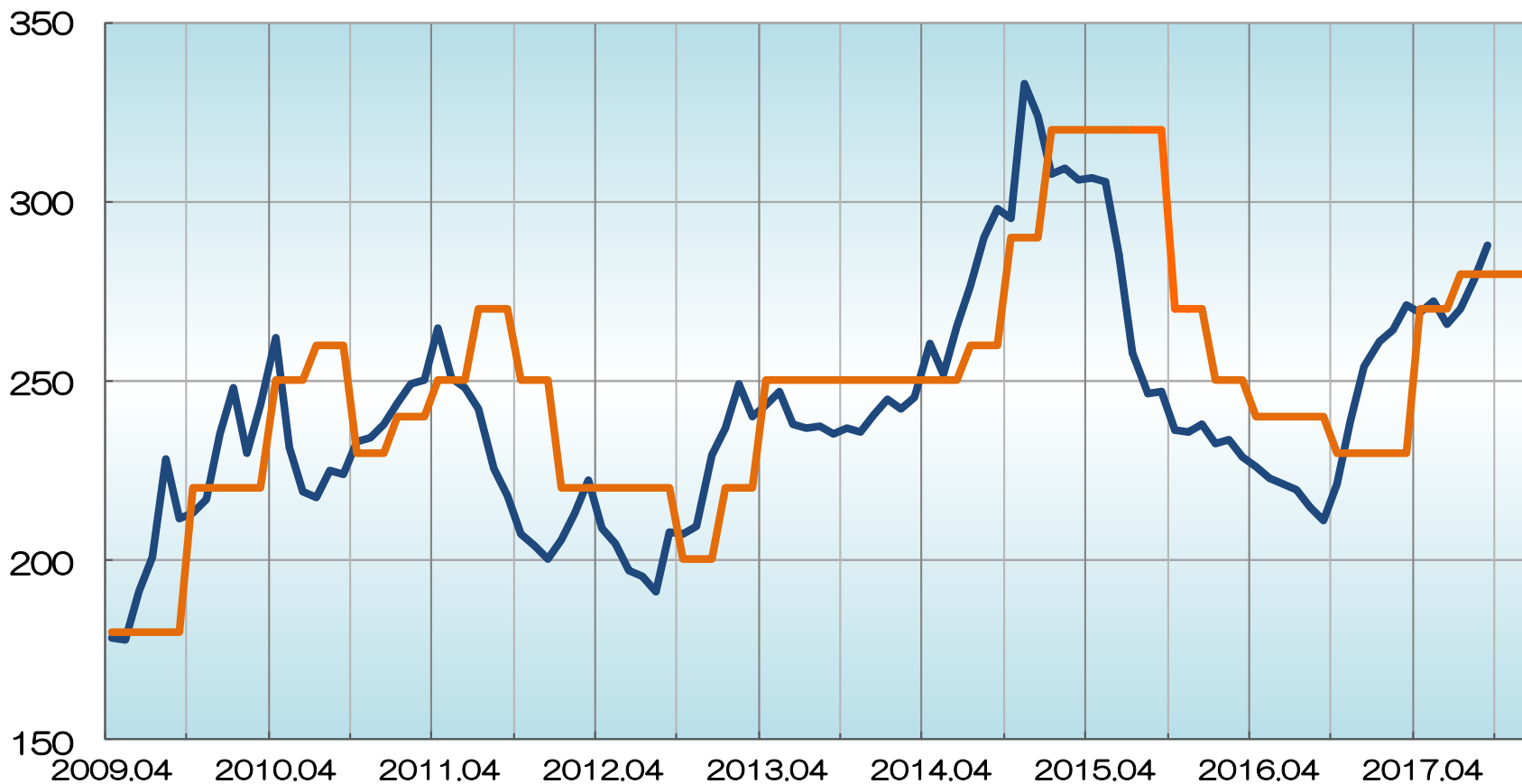
委員の半数以上は独立社外取締役
または独立社外監査役

ご参考データ

	2016年度 (実績)	2017年度 (1Q時 見通し)	2017年度 (下期 見通し)	経常利益への 感応度
アルミ地金 日経平均 (円/kg)	236	275	285	10円/kg上昇した場合 →+20~30億円/年
LME (米\$)	1,688	1,900	2,050	\$100/t上昇した場合 →+22~35億円/年
為替 (円/米\$)	109	112	113	ほぼ影響なし ・燃料単価、添加金属：円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差：円安が有利
為替 (円/タイバーツ)	3.08	3.30	3.38	
原油 (ドバイ：米\$)	45	55	55	10ドル上昇した場合 →△約10億円/年



(円/Kg)



— アルミ日経市況 — アルミ基準地金

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報IR部 TEL : 03-6202-2654 FAX : 03-6202-2021

URL : <http://www.uacj.co.jp>

(東証1部 コード番号 : 5741)